

2016年（平成28年）5月24日

春号 No. 70

(一社)東京都トラック協会青年部発行

編集者 高橋 益衛

東京都新宿区四谷三丁目1-8

TEL. 03-3359-4137

FAX. 03-3359-6020

URL <http://www.ttas.jp/>

『感謝』

本部長 笠原 史久
(多摩支部・(株)NTSロジ)

日頃より青年部の活動にご尽力を頂いておりました誠にありがとうございます。
まずは、先月、熊本で発生した地震により、お亡くなりになられました方々に、心よりご冥福をお祈りするとともに、被災されました多くの方々にお見舞い申し上げます。

最大震度7の地震が2度も発生し、余震も今までにないような回数と大きな揺れが繰り返され、どこまで被害が拡大するのか大変心配しました。本震発生から1か月が経過し、少しずつ現地の方々の生活が戻り始めているという状況です。しかし、家屋が倒壊している方々は、これから仮設住宅での生活となる等、私達には想像し得ない苦勞が、これからも被災者の方々にかかってくるかと思えます。

その被災された方々に一刻でも早く笑顔を取り戻してもらえるようにと、全ト協青年部会が実施主体となり、募金活動をさせて頂くこととなりました。皆様におかれましては、募金活動にご協力頂きまして、改めてお礼申し上げます。

今回の震災対応も同様ですが、何か行動を起こす時に、一人では出来る事が限られます。よって、この青年部の仲間と一緒に行動することで大きな力となり、地域や社会に影響を与えられるようになるのだと、この2年間、本部長を仰せつかって感じた事です。決して誰かだけが頑張るのではなく、みんなで協力するということが大事ではないかと思えます。

皆様のおかげで任期を全うする事が出来ました。2年間、大変お世話になりました。また、ありがとうございました。

◇広報委員会

広報の業務を預かり、早2年が過ぎようとしています。皆様のご協力でつつがなく「きらめき」の刊行をさせて頂くことができ、誠にありがとうございました。また、正副本部

長、幹事の皆様のご協力で、SNSを試験的に運用させて頂き、ありがとうございました。本部長肝いりのコミュニケーションツールの構築は、ご希望に添える結果が出せず、残念に思っております。

しかしながら、皆様の要望——①即時性の情報交換、②支部行事の告知、③スケジュール管理など——が見えたことで次なるステップへ繋がると信じています。

この2年間で培った経験を次期の委員長・委員の方々に引き継ぎ、広報のあり方を改めて模索して頂ければ幸いと存じております。

広報委員長 高橋 益衛
(目黒支部・(株)セイショウ)

◇目黒支部

目黒支部青年部長の高橋です。目黒支部においては、会員数が30社を割り、運営の方向性を模索しなければならない状況に至っています。恥ずかしながら、青年部会員数も少なく、活動そのものが厳しいものとなっています。

今年度から、新体制になる予定です。それに伴い、僅かながらですが、青年部会員に入れ替わりがあります。次世代の会員共々、これからの支部を支えていけるよう精進していきたく存じます。

青年部長 高橋 益衛 (株)セイショウ

◇文京支部

文京支部は他支部に比べて小さいですが、小回りのきいた運営をしています。先の青年部の総会では、8月27日の納涼会がスカイツリーなどを巡る屋形船での開催に決まり、翌28日に開催される、第5・6ブロックによる池袋東口での献血ボランティア活動への参加要請を致しました。また、来期からは、文京区立小学校の新生生に対してノートや文房具の配布を恒例の活動として始めることが決まりました！！

また、このたびの熊本地震におきまして、防災協定を締結している文京区の要請により、弊社とコスモ運輸(株)の2社で、大型車2台に飲料水22,000本や救援物資を積み込み、4月18日の夕方に出発し、19日のお昼過ぎに、最大震度7を記録した熊本県の益城町に届けてきました。私も昨年に大型免許を取得しておりましたので、初心者でしたが、弊社のドライバーと交代しながらハンドルを握りました。

待機場所では仮眠を取ろうとしても、地震警報が鳴って、寝ていられる状態ではありません……。それを考えると被災した方たちの苦労や不安が本当の意味で理解できました。想像を絶する環境での避難の状況に心が締めつけられる思いでした。

東日本大震災の際と同様に、長くしっかりとした復興に向けた活動に貢献できればと思います。



青年部長 堀内伸洋 堀内運送（株）

◇練馬支部

皆様、こんにちは。練馬支部青年部長の飯田です。早いもので、青年部長を仰せつかったから、あっという間に4年が経ち、5月14日の総会をもって青年部長を退任することとなりました。

最初の頃に思い描いていた事は、妄想に終わり、10分の1も実現できず、人集めに苦労した4年間でしたが、それでも少しずつ会員が増えていったのは、練馬支部のみんなのおかげだと思って感謝しております。

これからは、裏方としてサポートしていきたいと思います。4年間、役員の方々には大変お世話になり、ありがとうございました。まだ青年部を辞めるわけではないので、これからも練馬支部共々、よろしくお願い致します。

青年部長 飯田 修一 大心運輸（株）

◇東ト協青年経営者研修会に参加して

2月19日（金）、栃木県の「ツインリンクもてぎ」にレース場と併設されているアクティブセーフティトレーニングパークにて、朝10時半より、東ト協青年経営者研修会が開催され、28名の方々が参加し、緊急時の自動車の特性等について、実車による体験を通じて学びました。

また、今回の研修では、青年部会員だけでなく、運行管理者やドライバー等の方々も参加されておりました。

具体的な内容は、緊急時の対処やスムーズな制動を学ぶ「ブレーキ」、多種多様な路面環境に応じて車を制御する「スリパリーコーナリング」、急激な車のスリップやスピンに対しての適切なハンドル・ブレーキ操作を体験する「スキッドリカバリー」、上記3項目を各90分ずつで2班に分かれて実施しました。

雪道を想定したすべりやすい路面環境にしてあったり、強制的に車体をスピンさせたりするなかで、車の性能の信頼性と限界を知る機会となりました。ほんの時速1km、1cmのアクセル・ブレーキ操作のミスがスリップ等の事故発生要因になると同時に、もし、そうした事態に遭遇した際に、適切なハンドル・ブレーキ操作を行うことにより、その後の事故を最小限に抑える事を知ることができました。もちろん、我々、運送業界に携わる者としては、急ブレーキを行わないで済むような運転を心掛けるに越した事はありませんが、万が一の事故に巻き込まれる可能性はあります。

今回のような経験を全員で共有しておけば、被害の予防・軽減に繋がり、安全運転に生かせると感じました。

板橋支部青年部 石井 幹大 (株) 大協運輸

◇ (公社) 全日本トラック協会青年部会全国大会に参加して

平成28年2月12日(金)、(公社)全日本トラック協会青年部会全国大会が開催されました。大会テーマは、『次なるステージに向けて挑戦!!』でした。

全国大会に初めて参加させて頂きましたが、全ト協青年部会の活動報告を見て素晴らしい取り組みをされていると実感しました。なかでも、国土交通省自動車局の祓川貨物課長をお招きしての『トラック産業の発展に向けた国土交通省の対応について』の研修・意見交換会は、将来の業界発展の為に青年組織にしかできない有意義な内容だと思いました。

そして、社会貢献活動としての高等学校への整備実習用トラックの寄贈や、ラジオ番組への出演で社会貢献活動等の青年部会活動を紹介するなど、様々な活動に取り組まれていると感じました。

「トラック業界の生産性向上を目指して～人材不足・長時間労働解消に向けて～」をテーマとして行われたパネルディスカッションでは、パネリストとして全国から3社の青年経営者の方が自社の取り組みについて話されており、大変勉強になりました。

今回参加させて頂いたことで、本大会がとても素晴らしい勉強と交流の場であると感じ、全国の青年経営者の皆様と一致団結する事で、運送業がより一層社会に貢献できる、そして、子供たちが憧れる職業にする事ができると確信致しました！企画された笠原部長はじめ、関係者の皆様、お疲れ様でした！

足立支部青年部 白田 光治 (株) 藤倉運輸

◇東ト協青年部家族会に参加して①

先日、家族会のバーベキューに参加させて頂きまして、ありがとうございました。もともと忙しい主人が、ここ2年でより多忙になり、業界のことで家を空けることが多くなりました。私も妊娠・出産・育児に追われ毎日忙しいこともあります。夫婦間でなかなかコミュニケーションを取ることが出来ず、正直、業界に対してあまり良いイメージを持っていませんでした。

しかし、そんな時に今回の家族会開催のお話があり、参加させて頂きました。普段、主人からよくお名前を聞く方々に実際にお会いして、お顔を見てお話させて頂いて、皆さんが一生懸命に業界の事や会社の事、家族の事を考えていることが伝わり、イメージが変わりました。

そして、周りの方々からこんなにも慕われ、必要とされ、頼りにされている主人を見て、業界に対して良いイメージを持っていなかった自分が恥ずかしくなりました。

また機会があれば、是非参加させて頂き、あまり家にいないパパだけど、外ではこんなにも素敵な仲間と業界を良くして行こうと頑張っているんだと、子供達にも教えていきたいと思います。

今後とも主人共々よろしくお願いします。

笠原 衣織（笠原本部長の奥様からご投稿頂きました。）

◇東ト協青年部家族会に参加して②

4月10日（日）、お台場の「ダイバーシティ東京プラザ」屋上の「都会の農園バーベキューテラス」で開催された東ト協青年部家族会に参加させていただきました。

当日は、天候にも恵まれ、156名の参加者で賑わいました。数日前より、我が家の子供たちも楽しみに待ち望んでおりましたが、父親としては知らない人達ばかりで大丈夫かな？などとちょっと心配もありました。しかし、そんな心配は全くいらず、始まって10分もしないうちに、すっかり周りの子供達と打ち解けておりました。

笠原本部長の「私たち青年経営者が頑張れるのも家族のおかげ。今日は家族を労いましょう」との挨拶で始まり、私たちも初めはお肉を焼いたり、飲み物を取りに行ったりと動いておりましたが、時が進み、アルコールも進んでいくうちに、すっかり足は止まり、その役は奥様たちに移っておりました。「私たちが頑張れるのは奥さんや子供たち、家族の支えがあるからです。ありがとう。」この場をお借りして、皆を代表して改めてお礼を言わせていただきます。

さて、会も終盤になったころ、笠原本部長と子供たちによる、じゃんけん大会が行われ、豪華賞品をめぐり、盛り上がりました。このような家族会は初めての試みでしたが、大変盛り上がり、青年部会員同士のコミュニケーション、また、家族間のコミュニケーションも深まったのではないかと思います。

企画を担当された役員の皆様、ありがとうございました。準備等いろいろ大変かと思いますが、今後も続けていただければ、また参加したいと思っております。今回参加されなかった会員の皆様も、初めは私のように心配な面もあるかもしれませんが、是非次回は参加してみてください。

幹事 渡邊 博幸
(港支部・(株) 幸運)